

昭和58年度 和歌山県文化奨励賞

し みず たけ じ ろう
清 水 武次郎

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：大正4年

◎業績及び経歴

昭和10年、和歌山師範学校卒業後、小学校で教鞭をとるかたわら、当時先輩の謄写技術に魅せられ、在学中油彩、水彩を手がけていたこともあり、創作に取り組む。

昭和22年、大阪府下の小学校を最後に退職、謄写印刷業で生計をたてながら版画の創作活動を続けていたが、孔版画家として、わが国第一人者である若山八十氏の目に止まり、芸術版画の創作についての交流を深めた。

同年日本版画展に作品「慈光」を出展初入選以来連続出展、入選を重ねる。この間シカゴにおける日本創作版画展、国画展、汎美術家協会展等に出品。

昭和53年、日本和紙孔版画家連盟の創立に参加、昭和55年には意欲的な版画作家とばかり「和歌山版画80年の会」を結成、代表となる。

作風は半抽象のような具象から入り、近年は純粹抽象に向かう。「一瞬に出来上る版画の魅力、その瞬間の期待と感動は胸がときめく」と語る。ぼかし技法は独自なものであり、わが国孔版画の草分けである。

現在青甲会会員、県美術家協会理事、昭和31年より県展審査員を務めている。